

正しい運転操作

8 エンジンの始動

q 注意

エンジンを始動する前に電気器具を接続しないでください。

1. 燃料（無鉛ガソリン）の量を点検します。
2. 燃料コックをON（開）にします。
3. チョークレバーもしくはチョークノブを始動にします。

要 点

エンジンが暖まっている時は、チョークレバーもしくはチョークノブを始動にする必要はありません。

4. 交流スイッチを“OFF”にします。

5. エンジンスイッチをON（入）にします。

6. リコイルスタータハンドルを軽く引き出します。
リコイルスタータハンドルが重くなった状態から勢いよく引きエンジンを開始させます。

q 注意

リコイルスタータハンドルを戻す時はゆっくりと戻してください。

要 点

リコイルスタータハンドルを数回引いてエンジンが始動しない時は、チョークレバーもしくはチョークノブを運転にしてリコイルスタータハンドルを引いてください。

7. エンジン回転数が安定したらチョークレバーもしくはチョークノブを運転にします。

8. しばらく暖機運転します。

9. パイロットランプ（緑色）が点灯しているか確認します。

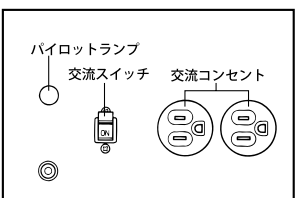
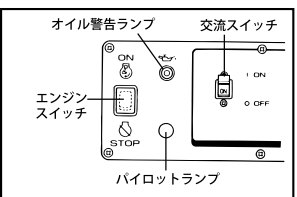
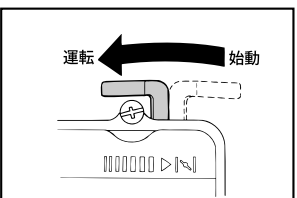
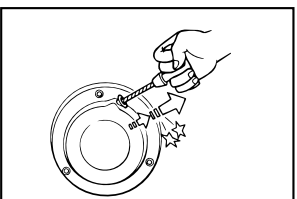
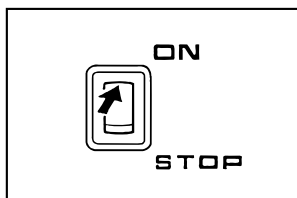
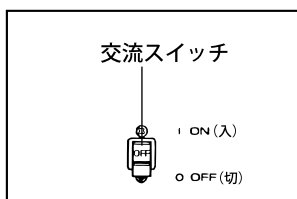
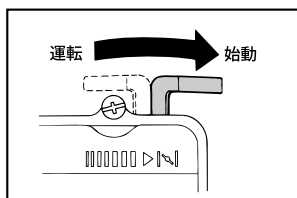
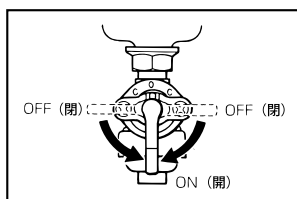
10. 消費電流15A以下の電気器具のプラグを交流コンセントに差し込みます。

2口合計消費電流 20A（50Hz仕様）

要 点

電気器具のスイッチがOFF（切）になっていることを必ず確認してから差し込んでください。

11. 交流スイッチをON（入）にします。



正しい運転操作（つづき）

8 交流電源の使用可能範囲

交流電源の使用はおおむね次の電気器具の取だし可能範囲まで使用できます。使用する電気器具の消費電力（W）をお確かめの上で使用ください。

電気器具	取りだし可能範囲		備考
	EF2300		
	50Hz		
照明・電熱器 ラジオ・テレビ ステレオなど	100V 2000W まで		力率= 1
電動工具類	100V 1600W 程度まで		力率= 0.8~0.95
汎用モータ類	100V 1000W 程度まで		力率= 0.4~0.75

q 注意

- 8 電気器具の合計負荷が発電機を取りだし可能範囲を超えた過負荷で使用しないでください。発電機損傷の原因となります。
- 8 精密機器・電子制御機器・パソコン・電子計算機・マイコン付機器および充電器類は電圧に敏感で、携帯用発電機からの電圧より均一の電圧供給を必要とするものがあります。このような機器を使用するときには、販売店に相談してください。
- 8 医療機器には使用できません。
- 8 電気工具類・汎用モータ類の一部には取りだし可能範囲が上記表内の数値内でも起動電流が大きく使用できないことがあります。この場合は電気器具会社にご相談ください。

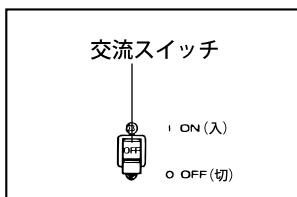
要 点

取りだし可能範囲を超えた場合、また電気器具に異常があった場合は、交流プロテクタがOFF（切）になります。

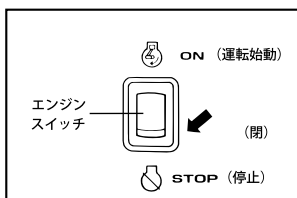
正しい停止操作

8 エンジンの停止

1. 電気器具のスイッチをOFF（切）にします。
2. 電気器具のプラグをコンセントから抜きます。
3. 交流スイッチをOFF（切）にします。



4. エンジンスイッチもしくはエンジンスイッチキーをSTOP（切）にします。



5. 燃料コックをOFF（閉）にします。

